

「(仮称)みやぎ情報化推進ポリシー(2021~2024)」中間案の概要 (対象期間:令和3年度~令和6年度)

1 策定の趣旨・位置づけ  
 (1) 県総合計画との関連: 「新・宮城の将来ビジョン」(令和3年度~令和12年度)の実現を下支えする情報化政策の基本方針及び庁内各分野の情報化施策に横串を通して連携を深めながら情報発信することを目的とした個別計画  
 (2) 法令等との関連 イ 官民データ活用推進基本法による官民データ計画に位置づけ ロ デジタル手続法におけるオンライン化推進のための役割 ハ 「自治体DX推進計画」における市町村への助言や支援の基礎

2 情報化政策における理念と基本的な方針  
 (1) 「新・宮城の将来ビジョン」の理念である「富県躍進! “PROGRESS(プログレス) Miyagi(みやぎ)”」を実現する目標の設定  
 (2) 横断的な視点 SDGsの推進「デジタルによる持続可能な未来づくりを目指す」 視点① 人づくり「情報化を支える人づくり」 視点② 地域づくり「地域課題の解決と活力の創出」 視点③ イノベーション「産業分野におけるイノベーションの促進」  
 (3) 基本姿勢 姿勢① 民の力を活かした県行政運営 姿勢② 市町村とのパートナーシップ 姿勢③ 時代の変化に対応する行財政運営 姿勢④ 広域的な視点に立った行政

3 デジタル化社会実現のための基本的な方針: みやぎデジタルファースト宣言  
 県民サービスの向上 県内産業の活性化 働き方改革の推進

4 【基本目標】「情報化で実現する富県躍進!」~誰一人取り残さないデジタル社会の実現~

【重点目標1】最適化による県民サービスの向上	【重点目標2】地域の課題解決と活力の創出	【重点目標3】デジタル化による働き方改革の推進
<p><b>【主な行動指針】</b>                      ○行政手続きのオンライン化, キャッシュレス化, オープンデータの推進                      ○デジタルデバйд対策の推進 ○マイナンバーカードの普及                      ○観光, 防災, 生涯学習など, 積極的な情報発信                      ○ICTによる教育環境の整備</p>	<p><b>【主な行動指針】</b>                      ○デジタル技術の導入による県内産業の生産性向上やイノベーションの創出                      ○5GやAI等のデジタル技術の導入推進による地域課題解決                      ○高付加価値化を目指したAIやIoT技術の導入支援                      ○先端技術の活用に着目し積極的に取り組む中小事業者や団体, 地域のデジタル化支援                      ○農林水産分野への新たな技術の導入を推進し, 担い手不足等の課題解決推進</p>	<p><b>【主な行動指針】</b>                      ○デジタルによる行政運営の効率化推進による県民サービスの充実                      ○Web会議やテレワークの導入による業務の効率化, ワーク・ライフ・バランスの向上                      ○押印手続きの見直しやペーパーレス・電子決済の推進によるコスト削減や業務の効率化                      ○AIやRPA等を活用し, 事務作業の省力化や効率化を推進</p>
<p><b>【主な個別施策】</b>                      ○オープンデータみやぎの推進 ○無料公衆無線LANの整備                      ○マイナンバーカードの普及啓発 ○電子申請システムの運営                      ○河川流域情報システムの運用 ○キャッシュレス取納の推進                      ○教育情報化推進の加速 ○生涯学習情報の利活用の推進</p>	<p><b>【主な個別施策】</b>                      ○地域課題を解決する5Gを活用した実証モデル                      ○情報通信関連企業立地の促進 ○AI・IoT産業創出・活用促進の支援 (調整中)                      ○アグリテック活用の推進 (調整中)                      ○新しい生活様式等によるビジネスモデル変化への対応の促進</p>	<p><b>【主な個別施策】</b>                      ○Web会議システムの活用 ○テレワークの導入                      ○ペーパーレス会議システムの導入 ○新総合文書システムの構築・運用                      ○議事録作成支援システムの運用 ○RPAやAIを活用した業務の効率化                      ○テレビ会議システムの運用</p>
<p><b>【主なKPI】</b>                      ○オープンデータみやぎ公開数 ○みやぎFreeWi-Fi導入箇所数                      ○マイナンバーカード普及率 ○授業にICTを活用して指導する能力</p>	<p><b>【主なKPI】</b>                      ○5G実証事業件数 (調整中)                      ○アグリテック導入法人数 (調整中)</p>	<p><b>【主なKPI】</b>                      ○Web会議実施件数 ○モバイルワーク実施人数/在宅勤務実施割合                      ○ペーパーレス会議実施回数/紙削減率 ○Web会議対応端末数</p>

【目標達成の基盤となる取組1】市町村の情報化への支援	【目標達成の基盤となる取組2】県行政の情報化の基盤整備
<p><b>【主な行動指針】</b>                      ○取組事例の紹介や国・県の動向に関する情報提供による官民データ活用推進計画の策定支援                      ○自治体クラウドの導入や電子申請システムの加入促進, オープンデータの公開を進め, デジタル・ガバメントの推進を支援                      ○みやぎハイパーウェブや自治体情報セキュリティクラウド等の情報通信基盤を支援                      ○外部人材の派遣や情報システム調達研修等の実施によるICTスキルの向上支援</p>	<p><b>【主な行動指針】</b>                      【情報システム最適化】○調達ガイドラインによるシステムの調達 ○業務のBPR実施によるシステム化範囲や目的の明確化                      【サイバーセキュリティ及び個人情報の適正な取扱の確保】○セキュリティ関係規程の遵守 ○研修受講による情報リテラシーの向上                      【庁内の人材育成】○外部人材の積極的な活用による情報リテラシーの向上 ○教育機関や企業との連携による人材育成</p>
<p><b>【主な個別施策】</b>                      ○宮城県・市町村共同電子申請サービスの提供 ○オープンデータの推進 ○研修・行政情報化アドバイス機会の提供                      ○自治体クラウド導入の支援 ○情報セキュリティクラウドの運用 ○電子申請システムの運営</p>	<p><b>【主な個別施策】</b>                      【情報システム最適化】○外部人材アドバイザーの活用 ○情報システム調達の統括管理                      【サイバーセキュリティ及び個人情報の適正な取扱の確保】○情報セキュリティ監査の実施 ○研修, セルフチェックの実施                      【庁内の人材育成】○システム調達・運用研修 ○デジタル社会における政策形成研修 ○情報教育研修の充実</p>
<p><b>【主なKPI】</b>                      ○オープンデータ公開市町村数 ○官民データ活用計画策定市町村数 ○電子申請サービス導入数 ○自治体クラウド導入支援実施数</p>	<p><b>【主なKPI】</b>                      ○アドバイザー相談件数 ○セキュリティインシデント数 ○セルフチェック遵守度 ○授業にICTを活用して指導する能力</p>

5 推進体制【多様な主体との連携】  
 ○宮城県情報化政策推進本部 ○ICT政策推進委員会 ○(仮)デジタル化推進調整部会 ○外部人材アドバイザー ○宮城県情報化政策推進懇話会 ○宮城県高度情報化推進協議会 ○宮城県電子自治体推進協議会 ○宮城県サイバーセキュリティ協議会

6 都道府県官民データ活用推進計画  
 オンライン化原則 オープンデータの推進 マイナンバーカードの普及・活用 デジタルデバйд対策等 情報システムの標準化等